

2025 年度第 3 回代表幹事会 議事録

縣陵東京同窓会

1. 日時：2025 年 10 月 26 日(日) 15:00 ～ 17:00
2. 場所：Z o o mによる web 会議
3. 参加：久保田会長、山岸副会長、百瀬幹事長、福井総務委員長、松澤事務局長、森本総会支援委員長、衣袋縣陵レディース委員長、戸田広報委員長、伊藤渉外委員長、二木次世代委員長、濱田メディア戦略推進委員長、岡田実行委員長、 12 名参加
(欠席) 小松副会長、仁科副会長、脇川財政委員長、西海会計委員長 4 名欠席

4. 議事

(1) 第 59 回総会懇親会の会場変更について

(二木さんから資料①に基づき説明後に参加者で議論)

- ① (二木)資料の補足：サンシャイン（着席ビュッフェ）の場合、20 名程度（例年の来賓約 8 名＋サポートが必要な方 10 名前後を想定）であれば、スタッフによる配膳対応が可能。
- ② サンシャインに変更することに関しては、以下の慎重な意見があった。
 - ・ アルカディアは会場側も慣れている。場所を変更しても実行委員の負担が軽減するわけではない。
 - ・ サンシャインは横長のスペースなので、アルカディアの方が一体感が持てる。
 - ・ 一度変更したら、次に戻れなくなる可能性がある。(→ 過去に他のホテルから戻ったこともある。申込は先着順なので早めに申し込めば可能ではないか)
- ③ サンシャイン（着席ビュッフェ）を推奨する理由として以下の意見があった。
 - ・ 来年から会報の発送者数が 2,400 人から 800 人に激減する。総会懇親会の紙の案内は 800 人にしか送られなくなるが、サンシャインでは Web 招待状のシステムが無料で使えるので、メールアドレスさえ把握すれば案内を送れるようになる。
 - ・ 横長のスペースだが、ステージがあり、それを見られるスクリーンも用意できる。全体にスペースに余裕があるので、ビュッフェの料理台も複数設置できる。(アルカディアはビュッフェの場合の余裕スペースはない)
 - ・ ピアノ使用料も無料にしてくれる。
 - ・ ビュッフェで準備する料理も参加者数の 7-8 割ではなく、全員分を用意するので、料理が足りなくなるリスクは小さいと思われる。また、来賓や高齢者にはレストランのスタッフが席まで持ってきてくれるサービスもある。
 - ・ 高 48 回への引継ぎ会はこれからで、彼らがどの程度出来るか未知数だが、企画として景観・合唱班のコーラスなども上手く組み合わせたい。
 - ・ 長岡高校の同窓会は、京王プラザホテルで、ビュッフェスタイル・参加費

13,000 円で 494 名が参加した。会費だけでなく場所も参加の意思決定に影響すると思われるので、サンシャインでトライしてみたい。

- ・ 我々役員は時代に合わせて変化していく必要がある。同じ会場を使い続けるのではなく、新しいことにトライして、1 回やってみることでプラスマイナスを経験してノウハウを貯めていくことが求められている。アルカディアも再来年に戻ろうとしたら歓迎されるので心配はない。それよりも経験値を積むことが大事だ。
- ・ アプリによる集客とか新しいノウハウを取り入れて経験を積んでいくことが有意義だと思う。
- ・ 料金については、今の若者は価値あることにはお金を使う（大学の同窓会の会費は 14,000 円になったが若い人が来る。推しのコンサートには数万円使う等）。初めてくる若者の身になって考えた時には、アルカディアよりサンシャインの方がワクワク感が有るので、サンシャインでトライしてみる価値がある。
- ・ お知らせの電子メールについては、急ぎ整理していく必要がある。ソフトを使って自分で変更できるようなことも考えている。（今年の申込は Web 申し込みが殆どでハガキの申込は 20 数通、若手で 1 回出た人やこれから参加を期待したい若い層へのアプローチはしやすい。）

※ 議論の結果、賛成多数で、次回は、サンシャイン（着席ビュッフェ）に変更することに決定した。

- ・ 二木さんからサンシャインに連絡して手続きを進める。
- ・ 高 48 回への引継ぎ会は 11 月 30 日(日)に予定している。

(2) 会報あがた作成等費用の削減策について

（戸田広報委員長より資料②に基づいて説明後に議論）

① 説明資料 3 ページのステップで削減策を進める。

- ・ 第一段階：現行の「郵便」から「郵メール」に変更する
発送部数は 2,400 人から 800 人に減らす
ハガキは会報本体に組み込むこととする
- 第二段階：仕様書が決まったら相見積もりを取ってコスト削減を図る
- 第三段階：一気通貫でシームレスで行う方法と業者を探しコスト削減を図る
- ・ 広告出稿者の属性調査をお願いしたい。
（岡田さんから二木さんに今年の出稿者のリストを送る→戸田さんに送る）
- ・ 最終的には Web 化を目指したい。

② 引き続き軽減策を検討していくこととする。

- ・ 1 月にキックオフ会議を行うので、12 月中には仕様が決まる。その後、相見積もりを取って更なる削減策を検討していく。

- ・ 12 月中に仕様を決めるためには高 48 回の実行委員との話し合いも必要となる。
- ・ 将来的には、ハガキを止めること、電子化を進めることを考えたい。
- ・ 広報委員会として引き続き検討していく事をお願いする。

(3) 会員名簿の管理・共有化について報告（松澤さん・濱田さん）

- ・ 市販のソフトも探して、名簿の管理方法を変えていくことを考えている。
- ・ 色々なデータがあり整理に時間が掛かっている。
- ・ 会員が自分で情報をアップデートして会費も払えるようなソフトも検討している。
- ・ 現在、2,400 名分の名簿があるが、メールアドレスが登録されているのは 300 人くらい。最近、Google Form で登録してくれる人の分は入手しやすい。
- ・ 第 58 回のハガキ回答データを整理し、名簿と連携させる
- ・ 12 月末までには整理して、出来たところで皆さんに相談したい。
- ・ 今年のアンケートでも、終身会費を支払っているが会報の送付を希望しない人もいる。そういった点も含めて整理していきたい。

(4) 縣陵レディースの行事の申込状況

- ① 現在の申込状況 23 名/ 定員 40 名
- ② 参加条件で会費納付を前提にしたが、その影響なのか申込者数が少ないのか懸念している。
 - ・ 参加するなら会費を払えというのが強制しているように感じるという意見もあったが、会費納付者と未納者で参加費に差をつけることに違和感がないという人が多かった。
 - ・ 同窓会から補助が出ているイベントでは参加費に差をつけないと会費納付している人に対して不公平になる。
 - ・ 引き続き、会費納付を促進するための工夫をしていくこととした。

(5) 本部臨時総会（10 月 13 日）の報告

（久保田さんより報告、臨時総会の資料は事前にメールで配布）

- ・ 10 月 13 日に松本市勤労者福祉センターにて臨時総会が開かれた。
- ・ 出席者 40 人（役員 7 人、来賓 7 人を含む）＋ 委任状 388 人 ＝ 428 人で定足数に達したと言われたが、委任状が 388 人分も本当に集まったのかは疑問が残った。
- ・ 我々の要望書を考慮に入れながらも建設続行が決まった。反対はなく、あっけなく決まった。役員会で建設を実行する方向で進めているので、着工日を延ばすことで経費増に繋がらないようにするため賛成した。
- ・ 大事なのはこれから。会館がどれだけ利用されているのか、採算をどう維持していくかを見ていく必要がある。

17:10 に閉会した。

以 上